



8月21日の仁川合流点



20号台風で砂入りした仁川合流点。(8月24日)



8月10日仁川にアオコ発生、ミズヒマワリ繁茂



20号台風でアオコ流れるもミズヒマワリ健在でガッカリ



新幹線橋梁したの犬走り表土洗われ表土流失



六桶堰上流側高水敷を洪水がながれ、昨年復旧した護岸崩れた



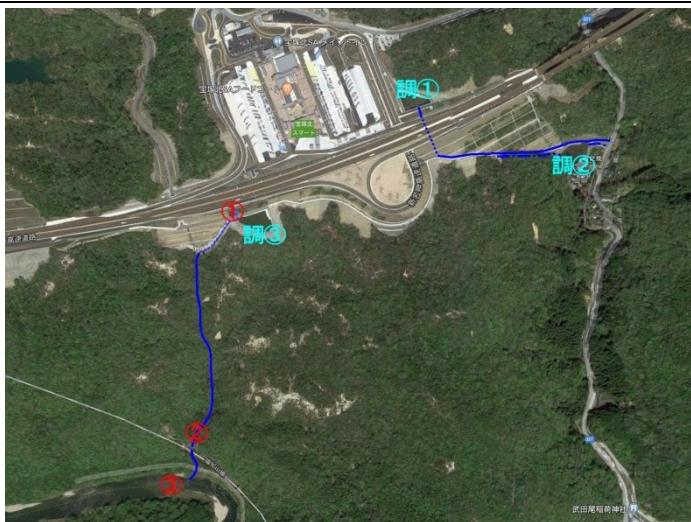
川の防災情報の小曾根水位から高水敷一杯一杯の所になるが、高水敷の水溜まりに小魚観察でき洪水はもう少し高いと思われる。。



8月23日の43号線橋梁下高水敷



20号台風多少表土流出したが想定範囲内?だった。



宝塚SAの調整池と排水経路図



調整池③に入る浄化槽排水管



細い沢筋に流れへの放流堰（何故か三角堰が有った）



沢筋のクリーム状の泡は浄化槽排水に起因するとは思えない。

台風20号は当初心配した程の洪水にもならなかったし、風もそれ程とは思わなかったが、仁川を始め各所に土砂堆積が見られ土砂流出が大きかったように思える。何本かの樹木が折れ伐採作業が行われていた。特に大木の被害が顕著であった。高水敷の水溜まりに逃げ遅れた小魚が見られるのに漂着ゴミは少なくこれまでの洪水とは少し違う印象を受けた。川の漂着物は少ないのに甲子園浜には近来見た事のない大量のゴミが漂着していた。

調①は、高速道路北東部分の雨水排水調整用で調整池を出ると僧川へ流れ込む。調②は、元々の谷川があったところに、栗石や管を埋め地中を流れる構造で外観から水路は見えないが手を加えていない南側斜面の雨水用。調③は、SA西側の雨水用で浄化槽排水用の調整池で浄化槽排水の流路の一部として使われている模様。

サービスエリア排水水質調査結果は、①浄化槽排水口 (COD: 20・NH₄: 0.3・EC: 891) ②水道橋 (COD: 8・NH₄: 0.3・EC: 684) ③本川 (COD: 6・NH₄: 0.2・EC: 405) で、SAの下水処理施設は正常稼働しているものと思われる。平日調査で利用者は盛期の1/2だったことを考慮しても武庫川への負荷は限定的と思われる。